

通話品質を最優先した場合のクラウドPBX比較

— Webex Calling (KDDI) vs VoiceX —



Webex Calling



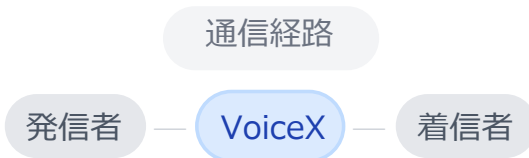
VoiceX

※接続点が少なく、品質劣化要因が限定される



比較軸	Webex Calling	VoiceX
① 音声経路	IP中心	キャリア音声前提
② 品質責任	IP電話品質	キャリア品質
③ レガシー置換	再設計が必要	置換しやすい
④ 運用自由度	SaaS前提	柔軟
⑤ サポート体制	Web/チケット中心	常駐チーム+電話対応

VoiceXの音声監視・障害検知の仕組み



重要：過去の音声劣化事象確認ポイント
【VoiceX】 ↔ 【着信者】間

- 約20分ごとに全通話経路を自動監視
- 電子音を自動発信・応答し音声伝送異常を検知

起きてから対応ではなく、
【常時監視】で異常時は即アラート

「UC/SaaS起点」 Webex Calling

会議やチャットが中心で、電話はその一部として作られている設計思想

「電話・通話品質起点」 VoiceX

品質監視・切り分け・サポートまで含めて 電話として完結する設計が VoiceXの強みです。

※Webex Callingに関する内容は、KDDI社公開Webサイトおよび一般公開資料をもとに整理しています。実際の提供構成・品質は、契約内容・ネットワーク設計により異なる場合があります。